

癌化学療法 投与計画書 （新規・変更）

加療番号
氏 名

提出日

生年月日
性別

主治医:

病名: EGFR遺伝子変異陽性の切除不能進行・再発の非小細胞肺癌
患者本人へ説明した内容:

手術日

プロトコール名:Ami【SC】+Laz(≧80kg 1サイクル目)

クール目

開始日 ←要記入

次回予定日

身長(cm) 体重(kg) 体表面積(m²)

確認事項
☐ day8以降の前投薬デカドロンは任意で必要な場合、適宜内服で処方
☐ 静脈血栓塞栓症の発症抑制するため本レジメン開始から**4か月間**は
アビキサバン1回2.5mgを1日2回経口投与
(ただし、Ccr<15の腎不全患者では、アビキサバンは投与できないことから、
Ami+Lazの併用投与以外の治療選択肢を考慮すること。)

(##### ~ 00年4月29日)

※すでにアビキサバンを含む直接経口抗凝固薬(DOAC)や抗凝固薬:ワーファリンを内服している場合は追加不要
※抗凝固薬なしで、バイアスピリン等の抗血小板薬のみ内服している場合は、科内統一でアビキサバンを上乗せする方針(最終は主治医判断)

						DAY 1	...	DAY 8	...	DAY 15	...	DAY 22
薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	1月 0日		1月 7日		1月 14日		1月 21日
1 ラズクルーズ		240mg/ 日	経口		連日	○	...	○	...	○	...	○
2 デカドロン錠4mg		2錠	経口	day1:リプロファズ投与 1時間前に内服		○	/	/	/	/	/	/
レスタミン錠10mg		5錠	経口	day8以降:リプロファズ投 与 30分前に内服		○	/	○	/	○	/	○
カロナール錠200mg		4錠	経口			○	/	○	/	○	/	○
3 リプロファズ 配合皮下注	2240mg/14mL (アミ/ベンタマブ 2240mg ボルヒアルロニダーゼ アルファZ8000単位)		皮下注	へそ周囲5cmを 外した腹部に 約5分かけて皮下投与		○	/	○	/	○	/	○

2240mg

※網掛け部分にご記入ください。

1サイクル: 28日
投与日:ラズクルーズ 連日
リプロファズ day1、8、15、22
サイクル数:1

《注意事項》
1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします
2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。